

(総務部)

【第一庁舎地下スペースの有効活用】

(質問)

市議案第78号豊中市一般会計補正予算第5号のうち、第一庁舎地下スペースを有効活用する修繕について伺います。これまで倉庫スペースとして活用してきた場所に、コンビニエンスストアを誘致するとのことですが、想定されている営業開始までのスケジュール、業者の選定方法、契約期間を教えてください。

<答弁>

令和8年4月の営業開始をめざし、公募型プロポーザル方式により令和7年10月に提案事業者を公募して受託候補者を選定し、12月上旬には運営事業者を決定する予定です。令和8年4月から5年間、行政財産の使用を許可する想定で、その後は市が運営状況等を審査して更新の判断を行うことを検討しています。

(質問)

予定されている営業日や営業時間、今回の誘致により想定されている歳入額について教えてください。

<答弁>

営業日や営業時間は事業者からの提案によりますが、営業日は平日と土曜開庁日等、営業時間は開庁時間の前後に少し幅を持たせた時間帯を想定しています。歳入想定額につきましては、行政財産使用料として、最低額を提示した上で、事業者から提案を募る予定です。最低額の算定にあたりましては、基準に基づき算定した年間約70万円をベースに、例えば住民票の交付が可能なマルチコピー機の導入や、子どもの活動・体験の場づくり、障害者支援事業の実施といった市の事業との関連性がある提案内容に応じて減額することを検討しています。

(意見・要望)

コンビニが入ることについては、職員の皆さんはもちろんのこと、来庁される市民の方や近隣住民の方にとってもニーズは十分あると思いますので、期待しておきますし、行政財産使用料を、最低額年間約70万円をベースに算定されるとのことでしたが、事業者から少しでも高い使用料の提示があり、歳入確保につながることもあわせて、期待しておきます。

(都市経営部)
【トイレトラックの導入】

(質問)

市議案第78号豊中市一般会計補正予算第5号のうち、防災設備整備事業について伺います。避難所の生活環境を改善するため、トイレトラックの導入を予定されていましたが、入札不調により、今年度中の導入が困難となったとのことですが、入札不調の要因をどのように分析されているのか、教えて下さい。

<答弁>

昨今のトイレトラック需要の高まり、人件費や物価高騰の影響により、予定価格超過となり入札不調となりました。

(質問)

トイレトラックを導入する費用として、今年度から来年度までの債務負担行為として限度額を284万4千円増額して設定されていますが、その理由や増額分の算出根拠を教えてください。また、今後の入札の見通しを教えてください。

<答弁>

仕様の変更等による予定価格の減額が難しいため、予算額の増額が必要と判断しました。入札の際の応札金額と当初予算額(予定価格)に物価上昇率(消費者物価指数)を乗じた金額を基に積算しています。予算承認後に速やかに契約手続きを行い、次年度の上半期には導入できればと考えています。

(都市活力部)

【豊中市立文化芸術センター等の指定管理者の指定】

(質問)

市議案第89号豊中市立文化芸術センターほか4施設の指定管理者の指定について伺います。令和8年4月1日から令和13年3月31日までの指定期間として、JCD・日本管財・大阪共立グループが第一候補者として選定されたとのことですが、1000点満点中673.5点との選定評価の結果を市としてはどのように受け止められているのか、教えてください。また、前回、当該グループが選定された際の得点も合わせて、教えてください。評価点数に差がある場合、その要因をどのように把握・分析されているかも教えてください。

<答弁>

本市に拠点を置く日本センチュリー交響楽団によるコンサートなど、“豊中ならではの”の独自性を活かした事業展開や、豊中出身者の芸術活動を支援する提案などから、一定の評価が得られたものと考えております。なお、前回の評価点数は、702点でございます。次に、今回の評価点数は、前回の評価点数よりも28.5点低くなっております。主な要因としましては、「所要コストの適正度」の項目において、物件費・人件費の高騰などで指定管理委託料の提案額が高くなったことが挙げられます。

(質問)

応募が1グループのみだったことに対する評価や見解、課題認識を教えてください。また、事業者の選定において競争性を働かせる仕組みや工夫を考えておられたら、教えてください。

<答弁>

複数の候補者の中から選定することが望ましいと考えますが、ホール運営のノウハウのある事業者に限られることや、専門性の高い人材の確保が難しいことも他事業者の応募につながらなかった要因と考えております。競争性を働かせるためには、参入障壁を下げるが必要と考えております。具体的には、説明会時に、施設の抱える課題やニーズを意見交換することで、実情を理解した、より質の高い提案が得られるようにしたり、公募期間の延長等といった仕組みなどを検討しております。

(意見・要望)

ご答弁にあったようにホール運営のノウハウのある事業者に限られていること、専門性の高い人材の確保が難しいことは理解しますが、結果的に所要コストの適正度（指定管理委託料）の項目が最も得点率が低く（ほぼ50%の得点率）なっていることは、応募事業者数の少なさが一因ではないかと思います。競争性を働かせる工夫や取り組みをいくつか検討されているとのことで、それらの取り組みが少しでも良い効果をあげることを期待しておきます。

【豊中市屋内体育施設等の指定管理者の指定】

（質問）

市議案第87号豊中市立豊島体育館ほか9施設の指定管理者の指定について伺います。令和8年4月1日から令和13年3月31日までの指定期間として、とよなかスポーツみらい創造パートナーズが第一候補者として選定されたとのことですが、1000点満点中727.5点との結果を市としては、どのように評価されているのか教えて下さい。また、前回、選定された際の得点も合わせて、教えて下さい。さらに、現指定管理期間の指定管理委託料も教えて下さい。

<答弁>

第2期豊中市スポーツ推進計画に基づき、子どもやスポーツ実施率の低い世代をターゲットにした事業提案がありました。さらにエリア特性に応じたトレーニング機器の更新の提案など本市の現状を理解した様々な取組提案が、一定の評価を得たものと考えております。なお、前回選定時の得点は、788.75点でございます。指定管理委託料につきまして、5年間の平均額は6億6千321万5千円でございます。

（質問）

候補者の選定理由に、スポーツ実施率の低い世代をターゲットにした具体的な取組みなど、本市の施策や課題を理解した提案がなされていたとのことですが、具体的にどのような取組みが提案されたのか、教えて下さい。

<答弁>

30代、40代の女性のスポーツ実施率が低いという課題に対し、自宅にしながら運動に取り組むことができる映像レッスンやオンライン動画の配信の提案がありました。さらに、託児付き教室や授乳スペースの新設など、子育て世代の女性がスポーツに親しむための提案などがございました。

（意見・要望）

とりわけ子育て世代の女性のスポーツ実施率の向上については、議会でも取り上げてきましたし、そういった議会での指摘も踏まえた提案があったようで、非常に嬉しく、期待しております。

【豊中市屋外体育施設等の指定管理者の指定】

（質問）

市議案第88号豊中市立豊島公園野球場ほか10施設の指定管理者の指定について伺います。令和8年4月1日から令和13年3月31日までの指定期間として、奥アンソーカー株式会社が第一候補者として選定されたとのことですが、1000点満点中648.62点との結果を市としては、どのように評価されているのか教えて下さい。また、前回、選定された際の得点も合わせて、教えて下さい。さらに、現指定管理期間の指定管理委託料も教えて下さい。

＜答弁＞

採点結果につきましては、現指定管理者として、課題認識は十分になされているが解消するための提案や新たな取組提案が少なかったことが、点数に反映されたものと考えております。また、前回選定時の得点は738.75点でございます。指定管理委託料につきまして、5年間の平均額は1億1千770万7千円でございます。

（質問）

屋内体育施設の第一候補者と比べると低い得点で、特に、市民満足度への配慮や従事者への配慮の項目においては、かなり厳しい評価がされていますが、これらの点についてもあわせて市の見解をお聞かせ下さい。また、候補者の選定理由に、今後は課題の解消に向けた積極的な取組みに期待しますとの記載がありますが、課題とは具体的にどのようなことを指すのか教えて下さい。

＜答弁＞

新たな取組の提案が見られなかったことや、労務管理上の認識のずれが今回の評価に繋がったと考えております。課題につきましては、各施設の老朽化に対応するための維持修繕や近年の猛暑に対する取り組みなどがあげられていました。このため、現状維持でなく、更なる改善や積極的な事業展開を求めています。

（質問）

1団体のみの応募だったことに対する評価と課題認識をお聞かせ下さい。

＜答弁＞

当初3団体の参加表明がありましたが、その後2団体から辞退の申出がありました。複数の候補者の中から選定することが望ましいと考えますが、屋内体育施設と比較し、雨天や猛暑など外的要因による施設管理の難しさや人員の確保が課題であると推察しております。

（意見・要望）

当初3団体の参加表明があったものの、結果的に1団体のみの応募になってしまったこと、

その団体さんの提案に新たな取り組み内容が無かったり、労務管理上の認識のずれがあるなどにより、選定評価委員会の採点が厳しかったことはとても残念です。先程、ご答弁で、施設の老朽化対応や猛暑対策の取り組みが課題として挙げられたとのことですが、このご時世、ある意味、最も改善や対策が求められる課題かと思いますので、その点については、あらためて指定管理者として指定された事業者には、改善や解消される取り組みがなされることを大いに期待したいと思います。いずれにせよ、個人的には、市内の屋外体育施設や屋内体育施設、さらには、ホール等についても、それほど悪い印象は持っていませんし、市民の方からもご不満の声は聞いておりませんので、正直、どの案件もとても評価が厳しく感じています。ローズ球場は昨年リニューアルされたところで、非常に素晴らしい施設ですし、文化芸術センターも立派な施設で、こういった施設を管理することは、事業者にとっては対外的に高い評価や実績につながるのではないかと思いますので、ぜひ、施設そのものの魅力も市内外により一層、発信して頂くことも重要ではないかと意見しておきます。